



JAPAN HERITAGE

日本遺産

日本遺産認定

かしましこ

兄弟産地が紡ぐ
“焼き物語”

茨城県笠間市 | 栃木県益子町

窯焚きの様子(濱田庄司氏が窯復活プロジェクトより)

日本遺産とは・・・

文化庁では、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取組を支援しています。

既存の文化財の価値付けや保全のための新たな規制を図ることを目的としたものではなく、地域に点在する遺産を「面」として活用し、発信することで、地域活性化を図ることを目的としている点に違いがあります。

(参考：日本遺産ポータルサイト)

『かさましこ - 兄弟産地が紡ぐ“焼き物語” -』 2020年日本遺産認定!

東日本屈指の窯業地「かさましこ」(茨城県笠間市と栃木県益子町)は、窯業や統治者によって古代から同じ文化圏でした。江戸時代に入り別々の道を歩みますが、18世紀後半から再び、製陶を通じてつながり合った地域です。

使い勝手のいい日用品を作り続けていたこの地は、存続の危機に陥ると時代に合わせた革新に挑み、多様な作風を許容する産地へと変化しました。自由でおおらかな環境が創造する者を惹きつけ、今では600名を超える陶芸家が活躍しています。

美意識を追求し美しい生活造形を生み出す「かさましこ」は、訪れる人の五感をも刺激し、暮らしに寄り添う独自の陶文化を醸成しているのです。

構成文化財



地藏院本堂／益子町



楞嚴寺木造千手観音立像／笠間市



笠間焼発祥に係わる登り窯／笠間市



山水土瓶／益子町



益子参考館登り窯／益子町



松井康成作品／笠間市

